

なんでやねん

発行責任者 意橋 忠

No.14

てんけん お
初めてのノート点検を終えて

ノートの作り方でテスト成績の差が出ました

テスト勉強に、君のノート整理は役立ちましたか？

初めてのノート点検の結果は右表の通りです。最高評価Sのノートを作成していた人は23人でした。その人達の試験結果を見ると77.1点で学年平均点(69.5点)よりも7点以上も高いことが分かります。ノートの評価が高くなるほど試験の平均点も上がる傾向が見られます。このようにノート作成とテスト成績の関係は数字で明確に表れます。

もちろん、私の要求するノート作りは大変です。しかし、その「しんどい」ことを克服した人が、確実に学力をつけます。ぜひ、少しずつ毎日ノート作りに取り組んでください。君の努力は君を裏切らないはずです。

何度も言ってきたように、社会科(歴史的分野)を学ぶ上で大切なのは「丸暗記」することではありません。大切なのは、社会的事象(社会的な出来事のこと)の意味を正確に理解し、複数の社会的(歴史的)事象の関係を説明できるようにすること(社会的思考)です。今回の試験は、歴史的事象間の「関係性」を理解していることを試すことを中心に作問しました。私(倉橋)の試験は、今後もこの傾向が続くと考えてください。

では、どのように「右側ノートの整理」に取り組めば、社会科の学力を高めることができるのでしょうか。それは、左側ノートのワークシートや板書の内容や、矢印の意味を説明する文を書くことが基本です。①まず、教科書や参考書(「なんでやねん」も含む)をよく読み、専門用語(キーワード)の意味を整理します。②次に、矢印の意味を考えて説明文を書きます。矢印の意味を説明することは「社会的思考力」を鍛えるための重要なポイントです。この作業の繰り返しが、論理的に物事を考える力(筋道を立てて考える力)を培う練習になります。③さらに、授業の感想を書きます(記憶を残しやすい)。

なお、ノート評価の結果はスタンプで表しています(特別優秀作品には幻の特大スタンプも使います)。

ノート点検と中間試験の成績		
ノート評価	試験の平均点	人数
S	77.1	23
A	74.8	33
B	71.5	58
C	70.4	45
D	64.9	66
E	56.5	12
未提出者	60.3	4
合計	69.5	241



友達のノートから学ぼう

今回のノート点検で、S評価(A°)を獲得したノートは23人のものでした。その一部の作品を紹介しますので、今後、君がノート作成をするときの参考にしてください。

なお、ここで紹介するノートは、「なんでやねん」の紙面の都合で、実際の物のレイアウトを若干編集したうえで、サイズを縮めたことを断っておきます。

【F組 N.K.さんのノート】このノートには、左側の下に「ポイント」コーナーが作成されています。そこには「たくあんには米ぬかが必要」の記述があり、この時間のポイントを見事にまとめています。さらに、右側には、グループ学習の際に出た友達の意見もしっかり記録できていることがこのノートのポイントです。

F組 N.K.さんのノート

3 歴史(社会科)を学ぶために

【学習目標】社会科をやぶさための3つの軸について説明できる。

(1) 【理解】次の3つの説明は、歴史的に豊富してきた時代が異なるます。3つの説明をつくり出された時代を古い順に並べてください。

【かくあん 福神清け 奈良清け】

【かくあん → 福神清け → 奈良清け】

たくあん...
福神清け時代
奈良清け...奈良時代

たくあん...
福神清け時代
奈良清け...奈良時代

たくあんには米ぬかが必要
だから、米ぬかができる
歴史を考えなければならぬ

① 必要な条件は何が
② 可能にする条件は何が

とんじた漬物が...
正しくは「只者」といふ。
太陽と植物と水とで出来た漬物。
これが世の中の中心だった江戸時代、只者漬け
おかげで今がせまい定番で、当時、何にもが売れて
切れてしまは300年で出されただけでなく、
た。しかし、人重視され、それが「身近な
だから。そこから、只者とつなげ出され、只者漬け
生じた。ただし、この理由は江戸時代を中心とした
武将が漬けられたり、漬けられたときに、習慣たどる
話である。

奈良清け... 非常醸造の漬物の一種で、タケヌキ、ナス、
ナリマメ、レモロ、キュウリ、シの葉等。
イタクまたは白玉芋との7種の下漬けした
野菜類を塩漬けして細かく刻み、醤油と味
噌を混ぜて、香りを付けて、味付けしたもの。

奈良清け... 奈良清けは、白玉芋、胡麻、醤油、生姜など
の野菜を塩漬けし、何度か洗して酒
粕(けいこう)に漬け替えてからじっくり漬物。

友達の意見に対する自分の意見

JHLのメンバーは4人いて、そのうち3人がたくあんを
「香りがいい」と仮定している。残りの1人は、
「つくあんを最初にしようとした理由は、作り方にが
り難か、それとも單純がてくらんど」と言
った。それを聞いていて、見えることは原料や材料だけ
でないことを知った。

【A組 M.N.さんのノート】このノートは、石器体験をしたときの授業で出た話題をコンパクトにまとめています。それだけでなく、自分が考えたことを書き留めていて記憶の手がかりも残すことが出来ています。

さらに、自分で石器のことについて調べたことを整理してまとめています。
その際にスペースを十分に取ったうえで、イラストを描き見やすいノートに仕上げています。無理をせずにまとめたノートだと思います。

A組 M.N.さんのノート

4 石器を使ってみよう

【学習目標】石器を使う体験を通して原始時代の人々の暮らしを想像する。

- (1) 石器が何に使われたのか想像する…(ノートに予想を書く) 5分
① 打製石器 と 磨製石器 のどちらの方が便利なのだろうか?
結論(打製石器)と理由(ナイフとして使える)

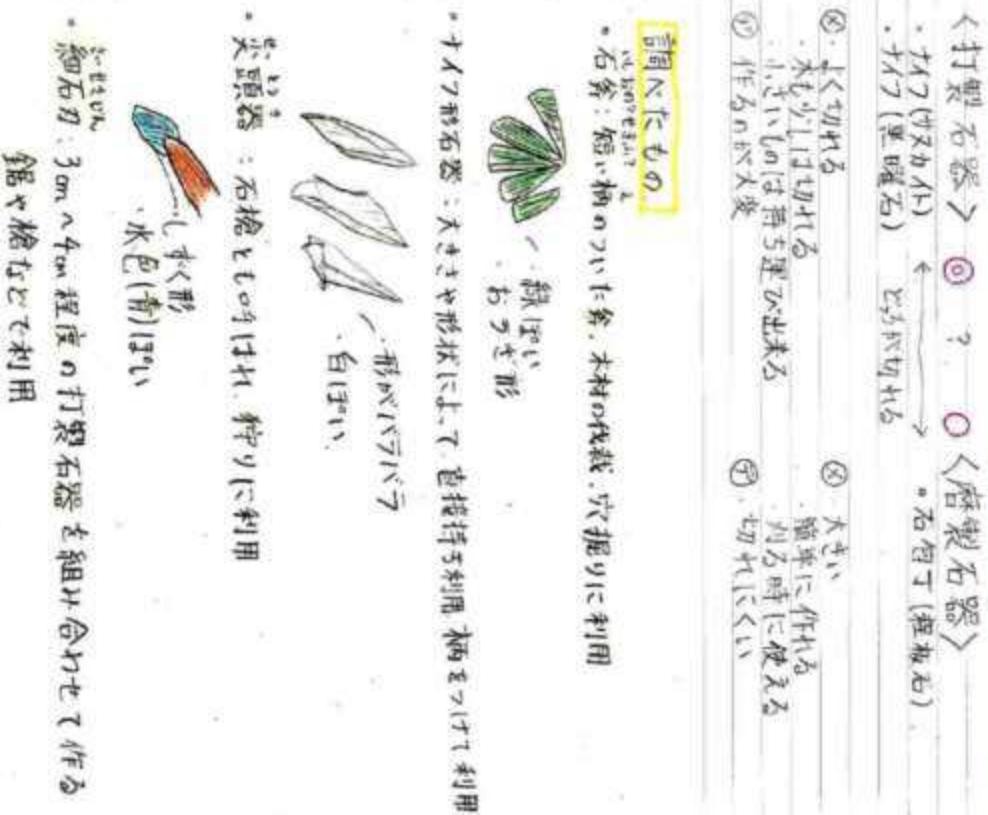
- ② 打製石器 は何に使う道具だったのだろうか?
結論(ナイフ)と理由(木も骨も持ち運び出来る)

- ③ 磨製石器 は何に使う道具だったのだろうか?
結論(石臼)と理由(刈る時に使える)

5分

- (2) 2種類の石器を使ってみよう…ダループで体験 10分
④ 予想はどうだったか? 話し合う…ダループで考える
① 2種類の石器のうち、どちらが便利か?

5分



【D組 A.I.さんのノート】このノートは、「歴史から何を学ぶか？」を話題にした授業のノートです。多くの人が何をまとめるか、大変だと困っていました。

実は、この時の右側ノートは、今回の試験の作文の課題に直結してました。

A.I.さんは、インターネットを利用して中学生以外の多くの人の意見を調べたようす。このような使い方をすると、インターネットは有効な学習方法になると思います。インターネットで手に入る情報を鵜呑みにしないで批判的に受け止めつつ、参考にするととても視野が広がります。「タダほど怖い物はない」(ウソが多い)を忘れないで、インターネットを利用してください。

① Why ... ?	② Whom ... ?	③ How much ... ?	④ How many ... ?	⑤ Which ... ?
-------------	--------------	------------------	------------------	---------------

5. 歴史が何を学ぶのか?

・ 老人にあた事性や戰爭から、もう今はやつてはいけないことを学ぶ。
・ 各々昔の生活や考え方から、どのように特に愛され、今的生活や考え方から、どう変わったかを学ぶ。
・ 何があつたら何があらかじめを学ぶ。
・ 書の出来等を学ぶ。
・ 音の音質を学ぶ。

6. 歴史を学ぶ方法

① When ... ?
What ... ?
Where ... ?
Who ... ?
How ... ?

「歴史は社会科学の実験場だ。」

(中学生が最も興味がない、つまり、何でも知らないところを調べるところ)
・ 歴史は、事がいつで何が起こったかを学ぶ。
・ 人間の豊かさを学ぶ。

（成績）

6. 歴史を学ぶ方法

① When ... ?
What ... ?
Where ... ?
Who ... ?
How ... ?

「歴史は豊かなものにしてあると、歴史のうちは必ず後悔してもいいの」。
「自分たちも歴史にしきたり、それが何でそこまでやりたかを学ぶ。なぜ、なぜ...」。
「なぜ？」
「 ... うこひうは数学ではないのです。歴史は、自分の人生をよくするための、自分の人生をよくするための、そのために、何をやるべきか？」
「なぜ？」
「 ... ねく目打で、なぜやがてこうした人生を歩むべきか？」

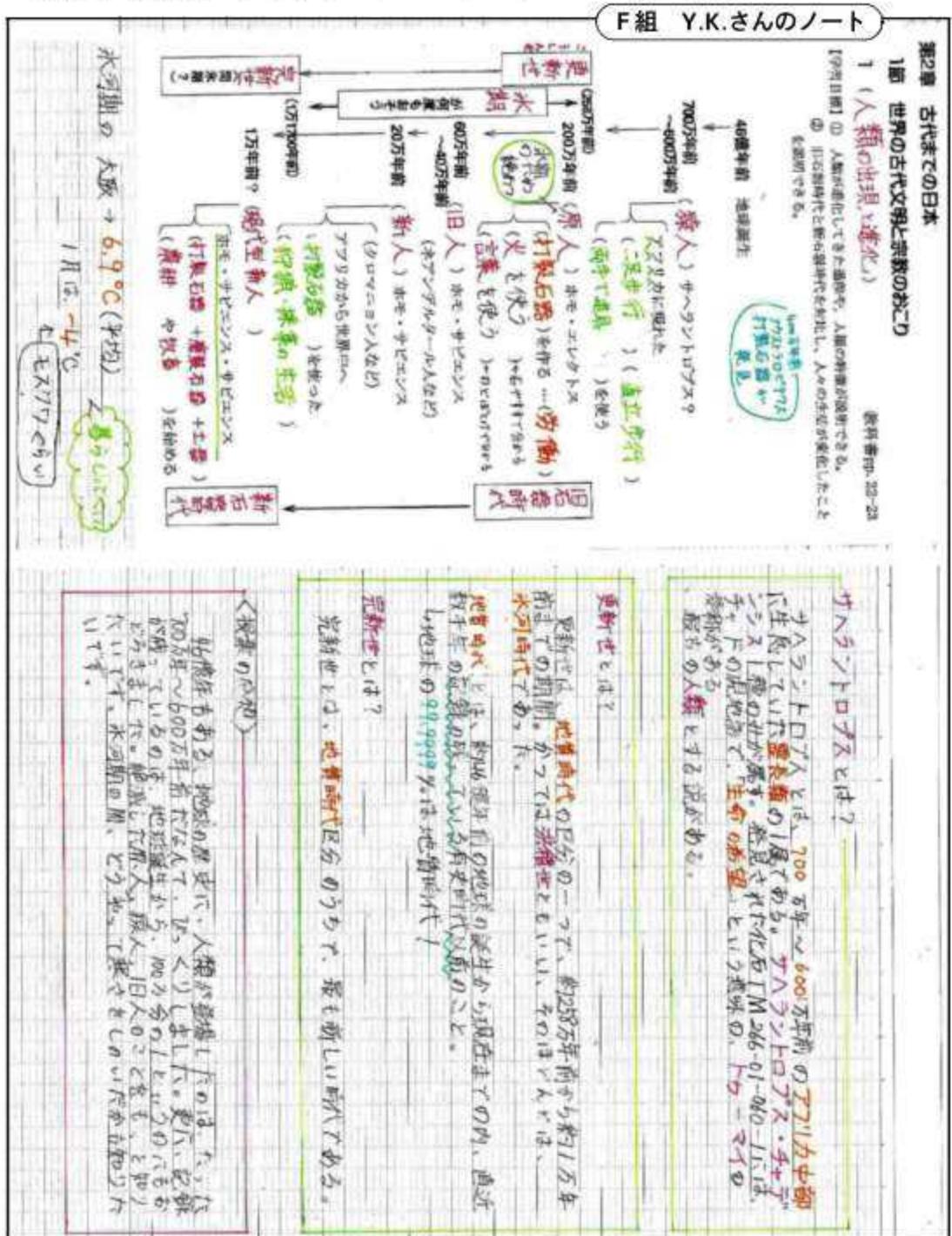
『歴史は豊かなものにしてあると、歴史のうちは必ず後悔してもいいの』。
『自分たちも歴史にしきたり、それが何でそこまでやりたかを学ぶ。なぜ、なぜ...』。
『なぜ？』
『 ... うこひうは数学ではないのです。歴史は、自分の人生をよくするための、自分の人生をよくするための、そのために、何をやるべきか？』
『なぜ？』

（手帳）

・ 歴史が何を学ぶか？同じ文書からでもたくさんありました。多くが「これまで
よりもっと基本的な考え方を学ぶ。
・ 何よりも、社会の方を多く見る。

【F組 Y.K.さんのノート】このノートは、「人類の出現と進化」を一気にながめる授業のときのものです。左側の下には、授業中に「氷河期の頃には日本はどのような気温だったのだろう」と調べたことを記録しています。このようなメモがあると、授業のポイントが何だったのか、数ヶ月後でも記憶をたどるのに役立つと思います。とても的確なメモが記されています。

さらに、右側のノートには、キーワードになる重要語句について、自分で調べたことをていねいにまとめています。これをずさんになると、デタラメなことを覚えることになるので要注意です。教科書p.276の「用語解説」を利用するものが基本ですが、収録されている用語数が少ないので玉にきずです。百科事典や「用語集」などの参考書を利用するのが無難かも知れません。もちろん、「なんでやねん」を活用してまとめるのも一つの方法です。



【E組 M.T.さんのノート】このノートも「人類の出現と進化」の授業のときのものです。このノートの左側は非常にシンプルです(ワークシートは複雑ですが)。

右側は「感想」を書き入れて、自分がどのようなことを感じ取ったり、学んだことをコンパクトにまとめています。M.T.さんのノートには、すべてのページに「感想」が記録されていて、後でふり返りやすいようにされています。

この場面では、猿人から新人までの人類の進化と、進化の年数が重要なポイントです。そこで書籍やインターネットで手に入れた図版のコピーなどをピンポイントで利用すると効果的です。短いコメントが効いています。

E組 M.T.さんのノート

第2章 古代までの日本

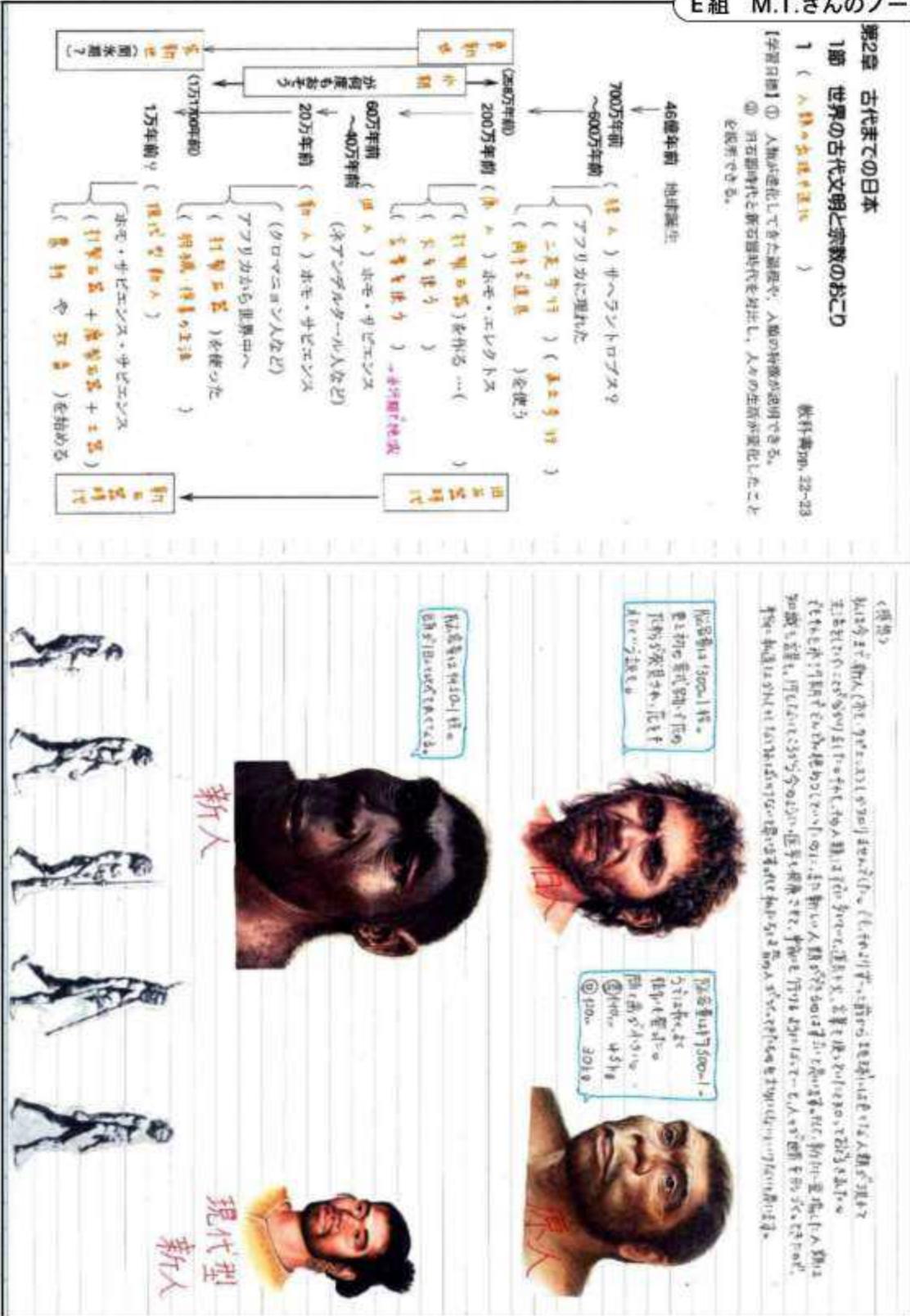
1節 世界の古代文明と宗教の歴史

1 (**人間の歴史とは**)

教科書P. 22-23

【学習目標】① 人物が進化してきた過程や、人種の特徴が説明できる。
② 石器時代と新石器時代を対比し、人々の生活が変化したこと

を説明できる。



【C組 H.W.さんのノート】このノートには、すべてのページに「コラム」コーナーが設けられています。このページのコラムを読むと「なぜ、草原には古代文明はできなかったか？」と短く、授業時の中心的な話題がまとめられています。

H.W.さんは、簡潔に古代文明のおこりをまとめています。この整理の仕方は、とても分かりやすく無駄がありません。ちなみに、農耕の「敵」が雑草であることは見落とされがちですが、今日でも農耕(農業)の重要な課題です。

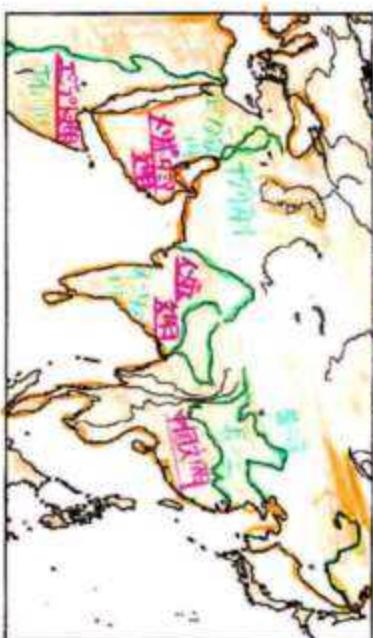
(C組 H.W.さんのノート)

2 古代文明のおこりと消滅

【学習目標】① 古代文明の特色を、生活技術の発達や文字の使用などを通して説明できる。

② 古代文明の共通点について考察し、説明できる。

教科書p. 24-25



① (アフリカ)と(アジア)の古代文明

- ① アフリカとアジアにおこった古代文明に共通することを考えよう。
※ヒント：6つの共通点がある。

ア
乾燥地帯
河川(大河の近く)
農耕や牧畜
国が生まれる
文字が発明される
青銅器や鉄器の金属器を使う。

- ② 教科書を参考にして、古代文明の位置と名称を書き入れよう。
③ 古代文明がおこった河川名を書き、河川を青色でぬろう。

氷河時代が終わり、新石器時代へ。
氷河時代の終りに、生物が多くなり、金剛石へ。
そんな中で叫びはじめる...
アフリカ (世界) 水によって農業ができる?
大陸に位置する。
大陸に位置する。

なぜ、草原には古代文明ができなかた?
草原の根が多くの水で潤して育てられないから。
人々が豊かな食料を「小麦」と「大麦」で育て、繁殖した。
彼らの食糧自体が豊富で、國へ貢献する者も現れた。
しかし、指揮している人間が「貴族」であり、他の人が「農奴」である。貴族は農奴を搾取する所である。貴族は農奴を榨取する所である。貴族は農奴を榨取する所である。

古代文明 は、どうしておこった。

エジプト文明 + インド文明

年、尼羅川が氾濫し、後に養分の多い土砂が堆積し、肥沃な谷が生まれた。
ヒンドゥー文明 + インド文明、ヨーロッパ文明

ヒンドゥー文明が発明され、粘土板で記録され、目的の神に捧げられ、「太陽暦」や時間との連絡で測るなど、1週間を「月」で読み替えて考えられた。
太陽の流域で文明が発生したのは、その地理的条件から。
ヒンドゥー文明では、山脈が高く、上部が肥沃で土質も良い。
ヒンドゥー文明が発展する。多くの人々を工事に勤める必要性があつたため、強大な権力が生まれた。

【B組 S.U.さんのノート】このノートは、授業のポイントを上手にまとめています。

特に、私(倉橋)が口頭で説明した、新石器時代から古代文明に発展した大きな要因の「余剰生産物」をメモで残しています。授業中に注意深く聞いていることがよく分かります。

さらに、新石器時代から古代文明に発展した要因をていねいに拾い上げ、簡潔に意味をまとめています。このようにしておくと、試験前には絶大な威力を發揮するノートになります。授業中の集中力が原動力になったノートですね。

B組 S.U.さんのノート

